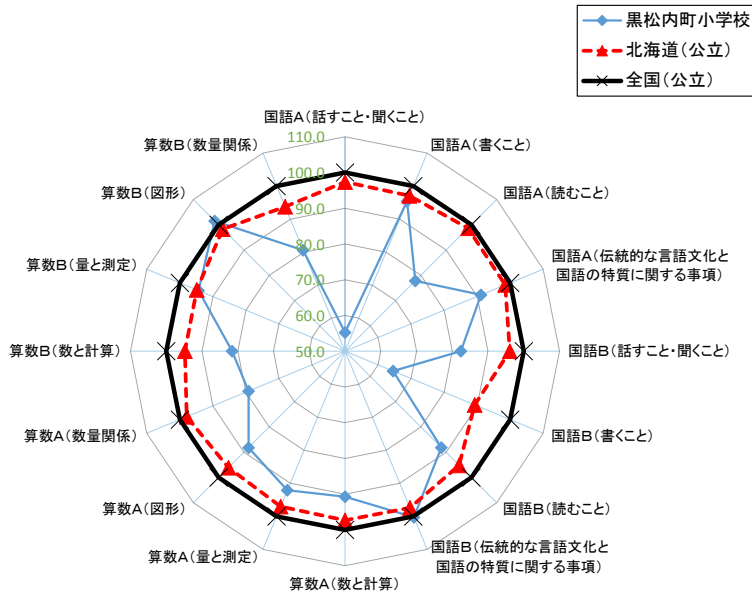


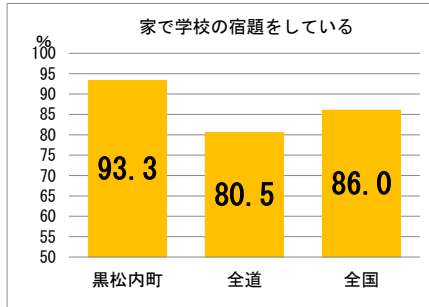
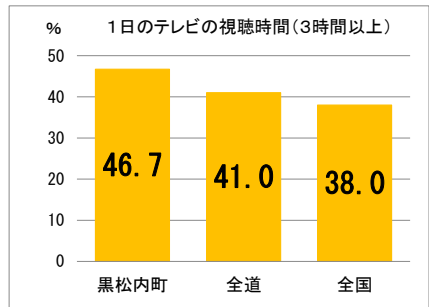
黒松内町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:15名)

【教科全体の状況】

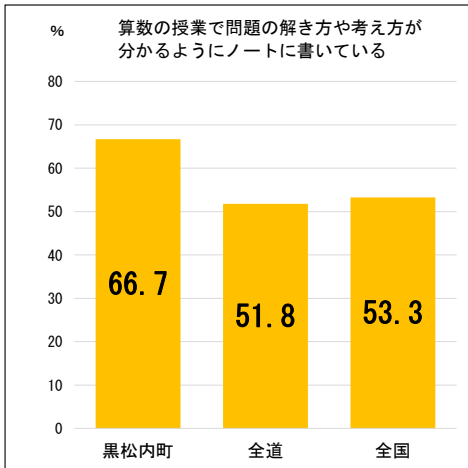
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



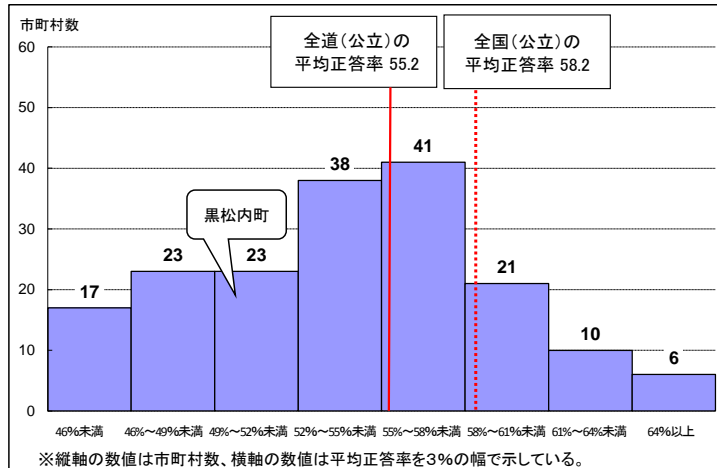
【児童質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【平均正答率(算数B)の度数分布】



【分析】

教科	○ 算数B「図形」において、平均正答率が全国、全道を上回っている。	○ 算数における補充的な指導や、習熟の早いグループに対する発展的な内容に関する指導の充実を図ったことにより、算数Bにおける「図形」で全国、全道を上回っていると考えられる。 ○ 算数におけるチーム・ティーチングによる指導を通して、ノート指導の充実を図ったことにより、問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書く児童の割合が高いと考えられる。
児童質問紙	○ 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている児童の割合が全国、全道を上回っている。 ○ 「家で学校の宿題をしている」と回答した児童の割合が全道、全国を上回っている。 ○ 「1日のテレビの視聴時間」で3時間以上と回答した児童の割合が全道、全国を上回っている。	
学校質問紙	○ 算数の指導として、補充的な学習の指導を行っている学校の割合が全国、全道を上回っている。	

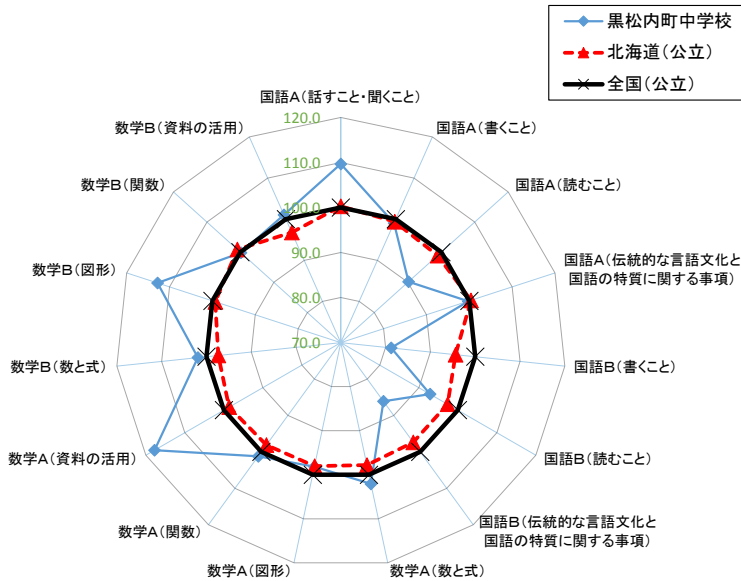
【黒松内町の学力向上策】

- ◎ 町独自の学習支援員の配置
- ◎ 長期休業中の補充的な学習サポートの充実
- ◎ 各学校における図書購入費の増額等による読書環境の充実

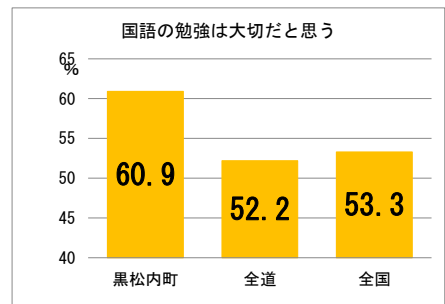
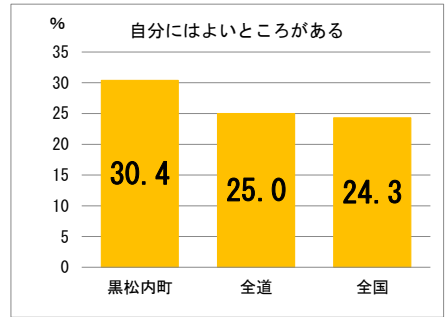
■ 黒松内町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:23名)

【教科全体の状況】

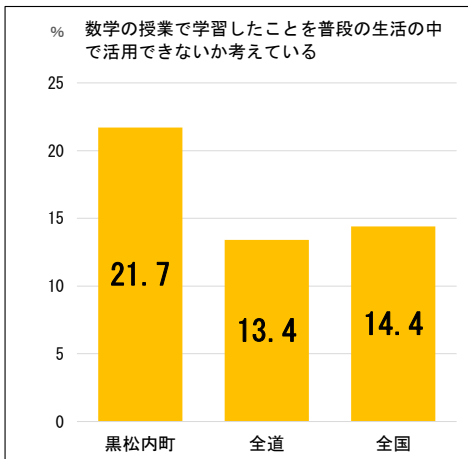
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものの(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



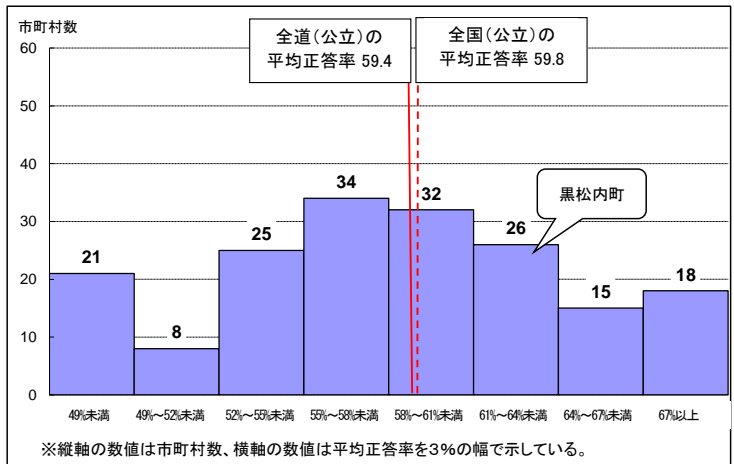
【生徒質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【平均正答率(数学B)の度数分布】



【分析】

教科	○ 国語A「話すこと・聞くこと」、数学A「資料の活用」、数学B「図形」において、平均正答率が全国、全道を5ポイント以上、上回っている。	○ 国語や数学における補充的な指導や、数学におけるチーム・ティーチングによる指導の充実を図ったことにより、国語A「話すこと・聞くこと」、数学A「資料の活用」、数学B「図形」で全国、全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えている生徒の割合が全国、全道を上回っている。 ○ 「自分にはよいところがある」「国語の勉強は大切だと思う」と回答した生徒の割合が全国、全道を上回っている。	○ 数学の授業で計算問題などの反復練習を行うとともに、授業と普段の生活を結びつけるように工夫し学習したことを普段の生活で活用できるようにしてきたことにより、数学Aと数学Bにおいて全国、全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 国語や数学の指導として、放課後や長期休業中を利用した補充的な学習の指導を行っている学校の割合が全国、全道を上回っている。	

【黒松内町の学力向上策】

- ◎ 町独自の学習支援員の配置
- ◎ 放課後や長期休業中の補充的な学習サポートの充実
- ◎ 各学校における図書購入費の増額等による読書環境の充実